

## タマネギにおけるハイフミンハイブリッドG施用効果(平成24年度)

1. 試験目的;ハイフミンハイブリッドGの施用による増収効果、品質向上を確認する。
2. 試験場所;静岡県浜松市
3. 試験内容

- (1) 試験区の設定 ①施用区(ハイフミンハイブリッドG 10a当り150kg施用)  
②対照区(無施用)

※ハイフミンハイブリッドG施用有無以外は、元肥、追肥はすべて同条件である。

- (2) 収穫日 平成24年1月17日

- (3) 調査方法 収穫時に施用区、対照区より30株引き抜き以下の調査を行った。  
地上部:最大葉長、葉数、茎径、地下部:可食部重量、横径、縦径、根重

### 4. 調査結果

- (1) 各区30株の平均値と対照区を100とした施用区の指数を次の表に示します。

表1. 地上部、地下部生育調査結果

項目	単位	施用区	対照区	施用区指数
可食部重量	g	103	78	132
横 径	mm	69.1	61.8	112
縦 径	mm	57.2	52.7	109
最長葉長	cm	68.1	63.6	107
葉数	枚	7.8	7.2	108
茎径	mm	21.2	17.7	120
根重	g	2.4	2.1	114

### 5. 結果および考察

- ①施用区、対照区の30株全体を撮影した写真1.を見ると、施用区の地下部の肥大が対照区よりも優っていました。
- ②地上部、地下部の生育調査を行った結果を表1に示しました。  
まず、地上部の生育については、施用区で最長葉長、葉数、茎径で優り、地上部の生育が促進されていることが解かります。特に、茎径が対照よりも20%増で組織が充実していることが解かります。  
根重については、引き抜いたので、すべての根を採取していませんが、施用区の根張りが良いことが解かります。
- ③可食部の評価については、30株の平均で見ても施用区の重量が明らかに大であることが解かります。縦径、横径ともに施用区が優っており、施用区が肥大の状態が良好であることが解かります。
- ④収穫物の規格別の比較でも、施用区がL、Mサイズで対照区よりも明らかに多いことが確認できました。

以上の結果より、ハイフミンハイブリッドG施用によりタマネギの根張りが良くなり、地上部の生育を促進して、地下部の肥大を充実させることが解かりました。規格別比較でも明らかのように、品質面でも優れており、増収と品質の向上が確認できました。



写真1. 施用区、対照区の収穫時の状況

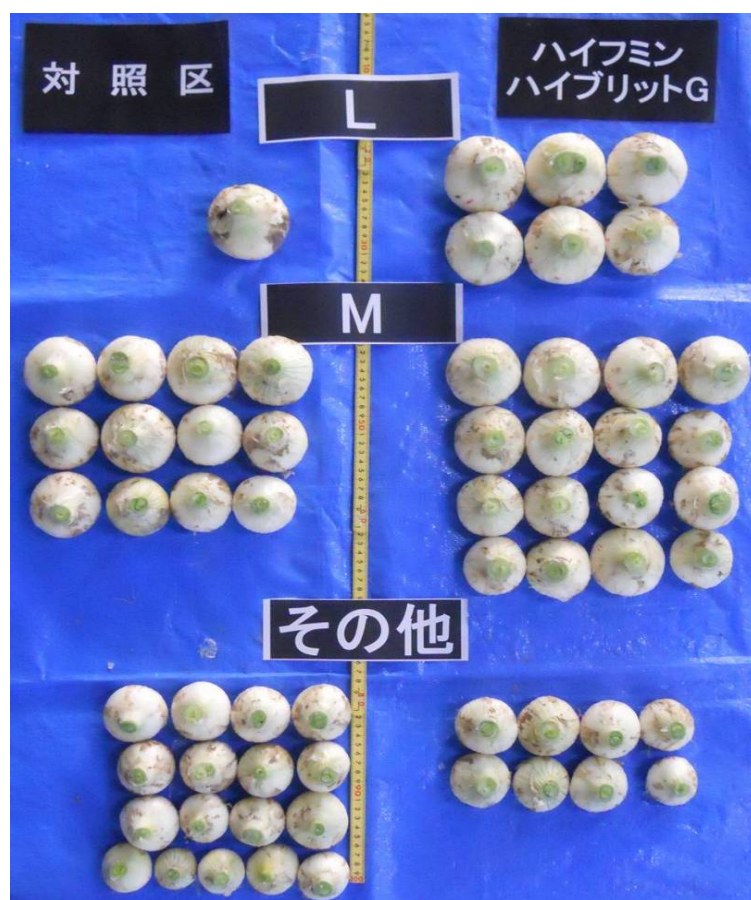


写真2. タマネギ規格別の収量比較